

会 議 録

1 会議名

平成27年度第3回新道区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1)平成27年度地域活動支援事業について（公開）

- ・採択事業及び補助額の決定

3 開催日時

平成27年5月26日（火）午後6時30分から午後8時25分時まで

4 開催場所

公民館新道分館 2階 多目的ホール

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員：秋山茂、岩下知彦（副会長）、岡田竹一（会長）、金井秀雄、金子俊一（副会長）、金田喜久治、田中正一、塚田忠次、船崎正保、保坂幸二、松苗ひとみ、松山秋夫（欠席2人）
- ・事務局：中部まちづくりセンター 山田センター長、恩田係長

8 発言の内容

【恩田係長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【岡田会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：金田委員に依頼

議題 「(1)平成27年度地域活動支援事業について」の「採択事業及び補助額の決定について事務局に説明を求める。

【恩田係長】

資料No.1-1、No.1-2により説明。

【岡田会長】

事務局の説明に質疑を求める。

今回は難しい判断が必要となるが、皆さんの採点結果を尊重し、また、提案者にとっても不公平感が少なく、地域から理解が得られやすい望ましい形として、新-11と新-12を不採択事業とし、その他の上位事業は提案どおり採択事業とする腹案を持っている。

【金田委員】

減額して事業内容が調整されれば採択できるような事業を不採択事業とした場合、採択される可能性はもうないのか。

【岡田会長】

2次募集で再度提案してもらうことになる。

新-11、新-12は不採択としてよいか。

(否定の意見なし)

新-11、新-12は不採択とし、次に下位の新-8から採否を諮りたい。新-8が採択されると、自動的にそれより上位の事業は全て認められることになる。このことについて、質疑を求める。

【金田委員】

新-8についてだが、収納庫は祭りの活性化に役立たないと思うし、町内会などの費用で整備すべきもので、地域活動支援事業でやるものではないと思う。

【岩下副会長】

新-8は基本審査で不適合を付けた人が3人いる。新-2も3人、新-9は2人、新-7は2人。平均点の差はないが不適合を付けた人がこれだけいるので、最下位の新-8を採択すると自動的に他も採択されるというのは、今回は反対である。

まずは、基本審査を元に採択と不採択を考えてもらいたい。予算は余ってしまうが、何のための審査なのかと思う。

【恩田係長】

今までの採択方法について意見があったが、順位の上のものから順番に決めていく方法とすることも可能である。

【岡田会長】

それだと非常に時間がかかる。

【船崎委員】

時間が掛かっても仕方ないと思う。無駄に補助金を出すわけにもいかない。

【塚田委員】

これだけの件数があると半分はまた別の時に審議しなくてはいけなくなる。

【船崎委員】

本当に必要なものは出すけども、希望はあっても必要でないものは考えないといけないと思う。

【岡田会長】

色々な意見が出たが、時間が掛かっても1位から採択するのか、今迄のやり方にするのか。方法について意見が割れるようだったら、協議しなければいけなくなる。

【金子副会長】

まずは、従来どおりの方法で決めるのか、1位から決めていくのかを先に決めてから次に進むのがよいと思う。

【岡田会長】

従来どおりのやり方でよいと思う人。

(6人挙手)

1位から決めていくやり方がよいと思う人。

(2人挙手)

それでは、従来どおりのやり方とした人の方が多いので、従来どおりで行う。

新-8について不採択とする人は挙手願う。

(3人挙手)

採択するという人は挙手願う。

(7人挙手)

新-8は採択されたので、自動的に他の事業も採択された。

次に補助額を1位の事業から決めたいと思う。新-6の申請額は79万9千円だが、これについて意見を求める。

【金子副会長】

満額でよいと思う。

【岡田会長】

満額でよいか。

(「はい」の声)

それでは満額で決定する。

新-4は申請額が111万2千円だが、どうか。

(「よい」の声)

それでは満額で決定する。

新-3は申請額が8万2千円だが、どうか。

(「よい」の声)

では、満額で決定する。

新-1は申請額が11万3千円だが、どうか。

(「問題ない」の声)

それでは満額で決定する。

新-5は申請額が112万3千円だが、どうか。

【金子副会長】

事業計画を見ると、予算が組んでありこの金額になっているが、実際問題はこの金額を使い切らない場合もあるかもしれない。そういう場合は返却されるのか。

【恩田係長】

平成26年度については、採択額を下回る金額で実績報告がされており、不用額は交付していない。

【金子副会長】

事業計画の収支計算書を見ると、いくら掛かるかはっきりしていない。

【田中委員】

固定しているのは、コピー機のレンタル料金などだ。

【金子副会長】

レンタル料金はわかるが、その他の金額がいくら掛かるかはっきりしない。

【船崎委員】

事業として総額1千万円くらい掛かるのか。

【岡田会長】

3年計画で、400万円くらいだと思うが、確定的なことは言えない。冊子を作成

し何百部も配布するとなれば製本と印刷代がものすごく掛かるので、そうなった場合はこのような予算ではとてもできない。

【金子副会長】

何部くらい作る予定か。

【岡田会長】

確定はしていないが、小学校や各町内会などに配布する予定だ。

【田中委員】

皆さんにたくさん買ってもらえればよいが。

【金子副会長】

無料配布ではないのか。

【岡田会長】

学校や町内に配布するものは無料になる。

それでは新-5については満額でよいか。

(「はい」の声)

【岩下副会長】

これは附帯意見をつけてもらいたい。いくら掛かるというのは全然分からないので、余ったら返してもらおうということにしてもらいたい。

【恩田係長】

不用額に補助しないことは当然のことなので、附帯意見に付けるほどのものではない。

【岡田会長】

新-10は申請額が138万2千円だがどうか。

【金子副会長】

昨年も採決しているからよい。

【岡田会長】

昨年は鴨島2丁目、その前は稲田4丁目だったが、去年から10万円くらい値段が上がっている。

【金子副会長】

今年になったら減額するのもどうかと思うので、満額でよいと思う。

【岩下副会長】

今迄採択してあるんだから、してあげないとよくない。

【岡田会長】

満額でよいか。

(「はい」の声)

新-7の申請額は35万4千円だが、申請どおりの満額でよいか。

(「はい」の声)

新-9は申請額が47万2千円だが、どうか。

【金子副会長】

これは購入品の優先順位はあったか。

【岡田会長】

あえて削るとすれば、ひょっとこのお面くらいだという話だった。

【田中委員】

祭りの道具を一式そろえるというのはちょっとよくない。

【塚田委員】

新-10の「あずまや」でも使っているし、鴨島1丁目町内会での申請額が180万円くらいになる。

【岡田会長】

鴨島1丁目は、ヒアリングの時にも20万円くらいなら出せると言っていたのだから、新-9はこのままで、「あずまや」を20万円減額したらどうか。

(「はい」の声)

新-10に戻るが、118万2千円の補助額にする。新-9の事業については満額ということに決まった。

新-2は申請額が63万3千円だが、どうか。

【塚田委員】

鴨島の町内だったか、過去にユニフォームを購入したいというのがあった記憶があるが、確か不採択だった。

【岡田会長】

以前の提案は個人の着る物であったから不採択になったが、今回は個人の着るユニフォームではなく、皆で共同で使用する道具だ。

【塚田委員】

私の意見としては鴨島の時の話があるので、どうかと思う。個人のものかどうかの問題だけではないと思う。

【塚田委員】

ユニフォームは練習用と試合用で分けてあるのか。

【金子副会長】

ヒアリングの説明で、ユニフォームは積立金で賄ったり、退会した人の物を買って賄っているという話だった。

【岡田会長】

新-2は満額でよいか。

(「はい」の声)

次に新-8の申請額は43万2千円だが、どうか。

(「はい」の声)

【恩田係長】

提案者に伝える必要があるため、下位の2事業の不採択理由と、新-10の減額理由を整理していただきたい。

【岡田会長】

新-11の鴨島2丁目は町内会館を持っていない。「あずまや」と防災倉庫はあるが、物を入れる収納倉庫がないから提案が出てきたが、理由について皆さんの意見を求める。

【船崎委員】

他の地区であるかわからないが、我々の稲田の場合は宝くじに申請してやった。宝くじの方に申請してみて駄目だったら、こちらに申請してみるのもよいと思う。

【岡田会長】

ヒアリングの時の話では、優先順位は収納庫を優先したいとのことだ。子ども神輿については、宝くじ協会に申請するとのことだ。

【塚田委員】

宝くじは、2年くらい待てば、お神輿と収納庫もついてくる。

【岡田会長】

新-11は、宝くじ協会に神輿を買えば収納庫も付いてくるということであれば、今回の予算の中では購入できないので、不採択としたというのではどうか。

新-12については、公園は本来であれば市の仕事である。元々ある公園に遊具を入れたいということであれば理解できるが、公園整備から時計まで付けるというのは、難しいと思う。また公園を造ることによって、地域がすごく活性化するとも思えない。ただ、スラッグラインは県内初ということだ。

【田中委員】

ネットで調べたら、安全管理がとても大変そうだ。

【金子副会長】

指導員みたいな人が付いていないと駄目なのか。

【田中委員】

小布施の所は、官民とスポンサーが多く付いているので成り立っている。1町内会ではちょっと無理だ。

【金井委員】

安全面が心配だ。

【岡田会長】

保険の問題よりは、私は地域活動支援事業としては、相応しくないということで不採択にしたが、どうか。

【保坂委員】

土地の使用目的は何なのか。この土地は市から借りているが、せっかく公園にしても何年後に市に返還するとなれば更地にしなければいけないと思う。

【恩田係長】

公園として使用する目的で貸し付ける。

今は、この事業を不採択にした理由を議論している。事業自体を否定するのか、他に優先する事業があったから不採択としたのか。提案者の今後の対応に影響する重要な事である。

【岡田会長】

皆さんに考えていただきたいのは、公園というものを地域支援事業でやってよいものかを私は考えてもらいたい。

【岩下副会長】

不適合という人が6人で、適合という人が8人いるので、意見が割れているわけだ。順位が最下位だからというしかない。支援事業でできないというならば、法律的に駄

目だというものがあって、誰か説明できる人がいるならばよいが、きちんと理由もなく説明できない。

【岡田会長】

あまり極端な事を言うと、いちいち伺いを立ててからでないと提案できないのかということになるのもよくない。

【船崎委員】

8人は賛成しているのだから、賛成した人がどう考えているのか聞いたほうがよいと思う。

【秋山委員】

私は適合としたが、土地の問題と、金額も多いので、最小限の金額でと附帯意見を書いた。

【岡田会長】

他に優先する事業があったからという理由がよいと思うが、よいか。

(「はい」の声)

個人的な意見では、「公園化事業」は駄目だと思う。遊具を入れるための助成ならば理解できる。私ならばそういうものは、市にお願いするように話しする。採決は取らないが、公園の性質を考えた時に、普通は行政が造るものである。地域活動支援事業の規定には適合しているが、何百万円も地域活動支援事業を使って造ったとなるとどうなのかと思う。

【金田委員】

公園が駄目なら公園以外で出せばよいのかということになる可能性もある。基本的に土木工事でやるのは、合わないとすればよいかもしれないが、伝え方を工夫しなければならない。

【恩田係長】

不採択の理由を伝えなければならない。

【船崎委員】

不採択なものは不採択だ。提案が趣旨に沿わないからだ。

【恩田係長】

実施手法を見直せば審査の土俵に乗ることが可能なのか。公園事業自体が駄目なのか。不採択の理由を決めていただきたい。

【岡田会長】

いかに特殊事情があっても、公園整備は行政がやるべきだと思っている。不採択の理由として、今の公園事業について、事業内容を見直しして提案してもらいたいというふうにするのか、頭から駄目だとするのか決を取る。

公園整備は支援事業では駄目だという理由の人は挙手願う。

(7人挙手)

事業内容を見直しして提案して欲しいという理由の人は挙手願う。

(4人挙手)

公園は駄目だという人が多かったので、そのような理由とする。

【恩田係長】

新-10の減額理由を確認いただきたい。

【岡田会長】

「あずまや」はヒアリングの時に20万円なら自主財源を出してもよいという話だったので、20万円減額した。その理由でよいか。

(「はい」の声)

新道区の配分額の700万円に対し69万8千円の残額があるが、2次募集を行うかどうかの決を取る。

2次募集を行うという人は挙手願う。

(10人挙手)

2次募集をかけないほうがよいという人は挙手願う。

(1人挙手)

2次募集するということになったが、審査方法は今までと同様でよいか。

(「はい」の声)

- ・2次募集の期間は7月1日(水)～7月15日(水)
- ・周知方法は6月15日号の広報じょうえつと併せて配布する地域協議会だよりで知らせる
- ・次回会議は6月23日(火)午後6時30分から新道分館で行う
- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-5111 (内線 1449、1547)

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。